

今後の検討の方向性について

1. プロジェクトの立ち上げ

<見えてきた現状>

- ◆ 一般の市民や事業者への周知、理解が進んでいない
- ◆ 「ふれあい」の機会を増やし「身近で共にあることが当たり前」を伝えることが必要
- ◆ 各団体で障がいのある人とない人の交流を図る取り組みは実施されている

- イベントや各事業所の取り組みなど、「交流の場」の拡大・創出を図り、障がいのある人とない人をつなぐ。
- 取り組みと取り組みをつなぎ、それぞれの関係者どうしをつなぎ、大きな動きに育てていく。

<より効果的な周知に向けて>

関心のない人も惹きつける取り組み

+

交流の場の拡大・創出

+

既存の取り組みの活用・充実

||

「つなぐプロジェクト」(仮)

2. プロジェクトの進め方

